



第5回仙台国際音楽コンクール

概要資料

【2012/12/25】

第5回仙台国際音楽コンクールの概要

名 称	第5回仙台国際音楽コンクール The 5 th Sendai International Music Competition < 略称: SIMC >
主 催	仙台国際音楽コンクール組織委員会 仙台市 公益財団法人仙台市市民文化事業団
開催部門	ヴァイオリン部門 / ピアノ部門
開催時期	ヴァイオリン部門 2013年5月25日(土)～6月9日(日) ピアノ部門 2013年6月16日(日)～6月30日(日) (3年毎に開催)
会 場	仙台市青年文化センター (宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
出場資格	1985年1月1日以降に出生した者(国籍不問)
申込締切	2012年11月15日(当日消印有効)
賞	1位賞金 300万円 ほか ・CD制作 ・仙台フィルハーモニー管弦楽団又は日本の代表的なオーケストラとの共演 ・リサイタル出演
運営委員長	海老澤 敏(尚美学園大学大学院特別専任教授)
審査委員長	宗 倫匡(ヴァイオリン部門) / 野島 稔(ピアノ部門)
オーケストラ	仙台フィルハーモニー管弦楽団
指 揮	パスカル・ヴェロ(仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者)

1. 仙台国際音楽コンクールの特色

① 協奏曲を課題曲の中心としたコンクール

協奏曲を課題曲の中心とし、セミファイナル及びファイナルではオーケストラとの共演による演奏で審査が行われます。

② 公正で信頼性の高い運営

世界的に活躍する音楽家による厳正な審査と水準の高い運営が評価されており、2005年5月には、国際音楽コンクール世界連盟(WFIMC)に加盟しております。

③ 市民の参加

市民のホスピタリティと聴衆に支えられたコンクールとして、多くの市民ボランティアが運営に参加しています。また、ホームステイ・プログラムの実施、観客が投票を行う聴衆賞の設定など、幅広い市民参加や音楽交流が生まれる事業となっています。

④ 第1位入賞者に対する継続的なフォローアップ

第1位入賞者に対しては、副賞として、3か年にわたってオーケストラとの共演機会の提供やリサイタルの開催、CD制作など、積極的、継続的なフォローアップを行っています。

⑤ DVDによる予備審査

これまで行ってきた各地でのオーディションからDVDによる予備審査とすることで、より広い国々からの出場者の参加を促します。

2. コンクール創設の背景

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が2001年に創設し、3年毎に行うコンクールです。才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興及び国際的文化交流の推進に寄与することを目的としています。

協奏曲を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、公正で信頼性の高い運営とともに、市民の温かいホスピタリティに支えられたコンクールです。2005年より国際音楽コンクール世界連盟に加盟しています。

3. 第4回仙台国際音楽コンクールの実績

2010年に開催された第4回コンクールには、ヴァイオリン部門、ピアノ部門合わせて37の国と地域から、前回は上回る430名の申し込みがあり、予備審査を経て、ニューヨーク、モスクワ、ベルリン、ウィーン、パリ、仙台の世界6都市で行われたオーディションを通過した74名が出場し、約1か月にわたって熱演を繰り広げました。

出場者のレベルの高い演奏に加え、世界的に活躍する音楽家による厳正な審査、さらに指揮のパスカル・ヴェロ氏、山下一史氏及び仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団の力強いサポート、市民ボランティアの心のこもったもてなしが高い評価を受けました。期間中は延べ約9,000人の観客が来場し、また、「マスタークラス」や「チャレンジャーズ・ライブ」、「学校訪問ミニ・コンサート」などの関連事業も大変好評で、合わせたコンクール期間中の総入場者数は延べ13,000人を超える盛況でした。

また、市民ボランティアが自ら企画したコンサートが数多く実施されるなど、出場者と市民の交流も一層深まり、非常に温かい雰囲気の中でコンクールを実施することができました。

コンクール終了後は、リサイタルやオーケストラとの共演など入賞者副賞コンサートを開催し、入賞者の演奏活動を積極的に支援しています。

4. スケジュール

<募集開始～予備審査>

内 容	日 程	備 考
出場申込開始	2012年 1月～	
出場申込締切 参加料納入期限	11月15日	
予備審査	2013年 1月	* 予備審査は非公開
予備審査結果発送	2月15日まで	
課題曲変更期限	3月15日	

<予選～ガラコンサート>

ヴァイオリン 部 門	実施日	内 容	出場人数
予 選	2013年 5月25日(土)～5月27日(月)	独奏 室内アンサンブルと共演	おおむね 36名
セミファイナル	6月 1日(土)～6月 3日(月)	オーケストラと共演	12名以内
ファイナル	6月 7日(金)～6月 8日(土)	オーケストラと共演	6名以内
入賞者記念 ガラコンサート	6月 9日(日)	オーケストラと共演	1位～3位 入 賞 者

ピアノ部門	実施日	内 容	出場人数
予 選	2013年 6月16日(日)～6月18日(火)	独奏	おおむね 36名
セミファイナル	6月22日(土)～6月24日(月)	オーケストラと共演	12名以内
ファイナル	6月28日(金)～6月29日(土)	オーケストラと共演	6名以内
入賞者記念 ガラコンサート	6月30日(日)	オーケストラと共演	1位～3位 入 賞 者

5. 今後の展開

国際音楽コンクール世界連盟の加盟団体として、高いレベルの実績を重ね、才能ある若い音楽家を世界に輩出するとともに、「音楽都市・仙台」の名を世界にアピールし、世界有数のコンクールとして認知されることを目指します。

第5回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門審査委員一覧



日本

宗 倫匡(そう ともただ)／審査委員長

ロンドン在住。英国王立音楽院で教鞭をとる。欧米の一流オーケストラ、指揮者との共演も多い。ユーディ・メニューインと共演したクシュタート、マルタ・アルゲリッチと共演したザルツブルクをはじめ、国際音楽祭にも数多く出演。日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして第一線で活躍。国際音楽コンクールの審査委員の経験も数多い。



日本

岡山 潔(おかやま きよし)／審査副委員長

東京芸術大学名誉教授。岡山潔弦楽四重奏団主宰。リゾナーレ室内楽セミナー、リゾナーレ音楽祭音楽監督。71-84年ドイツ／ベートーヴェン・ハレ管弦楽団、84-91年読売日本交響楽団第1コンサートマスター。ボン弦楽四重奏団のリーダーとしても活躍。日本、欧州で各オーケストラとの共演、リサイタル、CD録音等、多彩な演奏活動を行う。



スペイン／
イタリア

フェリックス・アーヨ Felix AYO／審査副委員長(新規委嘱)

イ・ムジチ合奏団の創設メンバーの1人となり、リーダー及びソリストを16年間務めた。多年に渡り、ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院で教授を務め、またスペイン、オーストラリア、日本、アメリカ、イタリアのセミナーでも指導。また、国際音楽コンクールでの審査委員も数多く務める。ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院名誉教授。



フランス

ピエール・アモイヤル Pierre AMOYAL(新規委嘱)

ベルクのヴァイオリン協奏曲をショルティ指揮パリ管弦楽団と共演。以後、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ボストン交響楽団をはじめ、数多くの世界一流オーケストラと演奏する。若くしてパリ国立高等音楽院の教授に迎えられ、現在はローザンヌ音楽院で教鞭を執る。ローザンヌ夏期音楽アカデミーの芸術監督も務める。



アメリカ

シュミュエル・アシュケナージ Shmuel ASHKENASI

ウィーン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団等多数のオーケストラと共演。フェルメール・クアルテット第一ヴァイオリン奏者を永年務めるなど、優れた室内楽奏者としても世界的な評価を得ている。教育者としても名高く、米国フィラデルフィアのカーティス音楽院でヴァイオリンと室内楽の教鞭を執っている。



ドイツ

クルト・グントナー Kurt GUNTNER(新規委嘱)

バイエルン国立歌劇場、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、バイロイト祝祭管弦楽団等で第1コンサートマスターに就任。1976年、ミュンヘン国立音楽大学のヴァイオリンの専任教授として招聘され、2004年まで務めた。世界各地でマスタークラス講師やコンクール審査員として活躍、2005年より武蔵野音楽大学客員教授を務める。



日本

堀米 ゆず子 HORIGOME Yuzuko

ブリュッセル王立音楽院教授。N響、ベルリン・フィル、ロンドン響、アムステルダム・コンセルトヘボウ管、フィラデルフィア管等世界一流のオーケストラとの共演を重ねている。マールボロ音楽祭、ロッケンハウス音楽祭等に出演。ベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏会をはじめ、様々なプロジェクトにも積極的に取り組んでいる。



アメリカ

ヤンウク・キム Younguck KIM

ソウル国立大学音楽学部長。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団等、有名なオーケストラと共演しており、米国ではほぼすべての著名なオーケストラと共演。ザルツブルグ音楽祭等多数の音楽祭に出演。また、アックス＝キム＝マトリオとして、室内楽の演奏にも深く携わっている。



アメリカ

チョーリャン・リン Cho-Liang LIN (新規委嘱)

ダラス、トロント、ベルゲン、ストックホルム、ホンコン、シンガポール等の世界各国のオーケストラと共演。現代音楽の主唱者として、多くの作品の初演も多く行っている。また、北京音楽祭、アスペン音楽祭等にも出演。1991年、ジュリアード音楽院教授に就任。その後、ライス大学シェパード音楽学校の教授にも就任。



ブルガリア／
フランス

スヴェトリン・ルセフ Svetlin ROUSSEV (新規委嘱)

第1回仙台国際音楽コンクール優勝、同時にバッハ賞、駐日フランス大使賞、聴衆賞受賞。現在、パリ国立高等音楽院教授、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団首席客演コンサートマスター。コンセルトヘボウ管やロンドン響といった著名なオーケストラとも数多く共演している。



イスラエル／
ドイツ

ミハエル・ヴァイマン Michael VAUMAN (新規委嘱)

ヴェニヤフスキコンクールで優勝。ベルリン交響楽団、モスクワ・フィル、サンクトペテルスブルク交響楽団等と共演。また、多くの音楽祭に参加し多くの著名な音楽家と共演。王立ノーザン音楽大学(英国、マンチェスター)や北京中央音楽学院(中国)、ダラスのサウス・メソジスト大学(米国)等で、多数のマスタークラスを開催。

第5回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門審査委員一覧



日本

野島 稔(のじま みのる)／審査委員長

東京音楽大学学長、桐朋学園大学院大学特任教授。日本を代表する国際的ピアニストの一人。アメリカ、ヨーロッパ、アジア各地でリサイタルを行うほか、内外のオーケストラに数多く招かれ共演している。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール、エリーザベト王妃国際コンクールをはじめ、国際音楽コンクールの審査委員も多く務めている。



日本

植田 克己(うえだ かつみ)／審査副委員長

東京芸術大学音楽学部教授、及び音楽学部長。71年安宅賞、73年クロイツァー賞受賞。日本、ヨーロッパ各地、中国などで演奏活動を展開。リサイタルをはじめ、NHK交響楽団、ベルリン交響楽団といった国内外の有名オーケストラとの共演、一流音楽家との室内楽など幅広く活躍している。



ドイツ

ベルント・ゲツケ Bernd GOETZKE／審査副委員長

ハノーファー音楽演劇大学教授。コンサートソリスト課程の学部長を務め、ドイツ国内外において多くのマスタークラスを開催。モスクワ、ワルシャワ、ミュンヘン等数多くの国際コンクールに審査委員として招かれている。また、ソリスト、室内アンサンブルのメンバーとして多くのコンサートを開催。



イタリア

ブルーノ・カニーノ Bruno CANINO

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、イギリス室内管弦楽団、フランス国立管弦楽団等と共演し名声を博す。1999年～2002年までヴェネツィア・ヴィエナーレの音楽監督を務める。また、世界各国の国際音楽コンクールの審査委員も務めている。ピアノと室内楽のマスタークラスを世界各地で開催し、現在はフィエゾレ音楽院で教鞭をとっている。



ベトナム

ダン・タイソン DANG Thai son (新規委嘱)

1980年、ショパン国際ピアノ・コンクールでアジア人として初の優勝。以来、世界40カ国以上で、リサイタルや世界有数のオーケストラとの共演を重ねる。CDも数々の名盤がリリースされている。クリーヴランド、ショパン等権威あるコンクールの審査委員を務めている。現在はモントリオール大学で教鞭をとっている。



アメリカ

ヨヘヴェド・カプリンスキー Yoheved KAPLINSKY

ジュリアード音楽院ピアノ科主任教授、及びブレ=カレッジの芸術監督。今日の音楽界で最も渴望されている指導者の一人であり、様々な音楽祭や大学において客員講師、演奏家として活躍。全米、イスラエル、ヨーロッパ、アジア各地でマスタークラスも開催。クライバーン、ルビンシュタインといった国際コンクールの審査委員も数多く務めている。



フランス

セシル・ウセー Cécile OUSSET

世界各地の主要都市で公演を行い、クルト・マズア、サイモン・ラトル等の著名な指揮者のもと、幅広いレパートリーをレコーディングしている。ブラームスのピアノ協奏曲第2番はディスク大賞も受賞。若い演奏家たちへの教育と指導に対しても熱い情熱と愛情を注いでおり、アメリカ、ヨーロッパ等世界各地でマスタークラスを実施している。



ポーランド

エヴァ・ポブウォッカ Ewa POBLOCKA (新規委嘱)

ワルシャワのフレデリック・ショパン音楽大学、ビドゴシチ国立音楽アカデミーで教鞭をとる。ロンドン響、ワルシャワ・フィル等の多数の著名なオーケストラと世界各地で共演。幅広いレパートリーを誇る多芸多才なピアニストで、リサイタル・室内楽の共演も数多い。各国のコンクールで審査委員を務めるほか、CDも多数リリースされている。



スウェーデン

スタファン・シェーヤ Staffan SCHEJA (新規委嘱)

ストックホルム王立音楽大学教授ピアノ学部長。ゴットランド室内音楽祭を創設、芸術監督を務めるほか、スウェーデン王立音楽アカデミーのメンバーでもある。自国の代表としてメキシコと日本を公式訪問したこともある。フランス国立放送フィルをはじめとした世界各地の主要オーケストラと共演、多数の録音も残している。



韓国

申 秀貞(シン・スジョン) SHIN Soojung

韓国を代表するピアニストの1人として、R.リッチ、C.キョンファら数多くの巨匠たちとの共演をはじめ、ロンドン・フィル、ソウル・フィル等世界各地のオーケストラとも共演。ソウル国立大学音楽学部、キョンウオン大学にて後進の指導を行った。現在はグレート・マウンテン音楽祭運営委員会会長を務めている。



ロシア

エリソ・ヴィルサラゼ Elisso VIRSALADZE

モスクワ音楽院、ミュンヘン音楽大学で教壇に立つ一方、様々な演奏活動も行っている。幅広いレパートリーをもとにしたリサイタル活動のほか、ルドルフ・バルシャイ、キリル・コンドラシン等の著名な指揮者のもと、世界の主要なオーケストラと共演。ルービンシュタイン、チャイコフスキーなど著名な国際コンクールの審査委員も務めている。

■第5回仙台国際音楽コンクール全体スケジュール

5月	23日(木)	ヴァイオリン部門 (出場登録)	
	25日(土)		1日目
	26日(日)	●予選 (出場人数:36名)	2日目
	27日(月)		3日目 [夜予選通過者発表、フィードバック・セッション]
	28日(火)	審査委員によるマスタークラス	1日目 13:00~20:00 練習室1・4
	29日(水)		2日目 13:00~20:00 練習室1・4
		学校訪問ミニ・コンサート	午前中 2校予定
		チャレンジャーズ・ライヴ	18:30~ エル・パーク仙台 ギャラリーホール
6月	1日(土)		1日目
	2日(日)	●セミファイナル (出場人数:12名以内)	2日目
	3日(月)		3日目 [夜セミファイナル通過者発表、フィードバック・セッション]
	5日(水)	学校訪問ミニ・コンサート	午前中 2校予定
	6日(木)	チャレンジャーズ・ライヴ	18:30~ せんだいメディアテーク オープンスクエア
	7日(金)	●ファイナル (出場人数:6名以内)	1日目
	8日(土)		2日目 [終了後、表彰式(順位発表)@ホール内、記者会見]
	9日(日)	●入賞者記念ガラコンサート	[終了後 さよならパーティー]
	14日(金)	ピアノ部門 (出場登録)	
	16日(日)		1日目
	17日(月)	●予選 (出場人数:36名)	2日目
	18日(火)		3日目 [夜予選通過者発表、フィードバック・セッション]
	19日(水)	審査委員によるマスタークラス	1日目 13:00~20:00 シアターホール、練習室1
	20日(木)		2日目 13:00~20:00 シアターホール、練習室1
	学校訪問ミニ・コンサート	午前中 2校予定	
	チャレンジャーズ・ライヴ	18:30~ せんだいメディアテーク オープンスクエア	
22日(土)		1日目	
23日(日)	●セミファイナル (出場人数:12名以内)	2日目	
24日(月)		3日目 [夜セミファイナル通過者発表、フィードバック・セッション]	
26日(水)	学校訪問ミニ・コンサート	午前中 2校予定	
27日(木)	チャレンジャーズ・ライヴ	18:30~ エル・パーク仙台 ギャラリーホール	
28日(金)	●ファイナル (出場人数:6名以内)	1日目	
29日(土)		2日目 [終了後、表彰式(順位発表)@ホール内、記者会見]	
30日(日)	●入賞者記念ガラコンサート	[終了後 さよならパーティー]	

★フィードバック・セッション=次の段階に進めなかった出場者と審査委員との交流会

お問い合わせ

公益財団法人仙台市市民文化事業団 コンクール推進課

〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5

Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873

URL: <http://www.simc.jp/>

e-mail: info@simc.jp